



成長産業の発展に向けたイノベーションの推進

イノベーション推進センター

「やまぐち未来維新プラン」、「やまぐち産業イノベーション戦略」に基づき、新たな成長産業の育成・集積を図るため、未来の山口県内産業をリードしていくことが期待される「環境・エネルギー」、「医療・ヘルスケア」、「バイオ」関連産業の創出・育成のための実行機関として山口県産業技術センター内にイノベーション推進センターを組織しています。

次世代産業の推進に関する山口県の取組について【環境・エネルギー／医療・ヘルスケア／バイオ】

これまでの次世代産業の育成・集積を活かした継続的・発展的取組の展開

AI・IoT・IT・水素分野の重点化

3分野連携・融合による推進体制

事業化製品・技術の展開・高付加価値化

イノベーション推進分野

イノベーション推進体制

目 標

環境・エネルギー分野

医療・ヘルスケア分野

バイオ分野

水素等新たなエネルギーの創出

再生可能エネルギーを活用した水素の製造

エネルギー・CO2の貯蔵・輸送・

利活用技術の革新

副次的に生産される水素や二酸化炭素の

利活用技術の開発等

環境負荷低減

機能性材料等の研究開発

ヘルスケアの推進

ヘルスケア関連製品・技術等の開発

がん・生活習慣病等の

治療技術の高度化

個別化医療や再生医療、細胞療法等の治療技術

高度化の促進

医療・介護現場の改善

医療現場の改善・効率化の支援や患者のQOL

向上に向けた機器開発等

バイオによる健康で豊かな暮らしへの貢献

地域のバイオ資源を活用した技術開発等

バイオによる環境負荷の軽減

環境浄化や資源の有効利用促進等

バイオ技術の融合による

ものづくり技術の高度化

新たなバイオ関連機器・技術の開発等

山口県産業技術センター

イノベーション推進センター

推進チーム体制

イノベーションプランナー

コーディネータ

コーディネータ

各フェーズ課題に応じた支援

・研究開発テーマ発掘

・マッチング

・競争的資金獲得

・研究プロジェクト管理

高度民間人材を

活用した推進体制

やまぐち次世代産業推進ネットワーク

環境・エネルギー研究会

やまぐち医療関連成長

戦略推進協議会

やまぐちバイオ関連

産業推進協議会

高度民間人材を

活用した推進体制

イノベーション

推進ネットワーク

やまぐち産業イノベーション

加速化補助金

区分	カタバルト枠	アドバンス枠
補助率	2 / 3 以内	
補助限度額	年間 500万円	年間 1,500万円

クリーンで経済的な
エネルギーシステムの実現への貢献

人生100年時代を見据えた
健康長寿社会の実現への貢献

健康で豊かな暮らし・
持続可能な地球環境の実現への貢献

○持続的な産業イノベーションの創出。
○地域経済の活力の創出・向上。

123件 (2021年)

180件 (2026年)

事業化件数



瀬戸内コンビナート

○若国 (日本初)

○周南、下松

○宇部・小野田

せとうち・ものづくり技術基盤

ケミストリー

部材・素材

中小ものづくり技術

優秀な

民間人材

<特徴> 高度民間人材や、技術交流プラットフォームを活用した推進体制

産業技術センターに設置した「イノベーション推進センター」では、イノベーションプランナーとして、全国でも珍しい大手企業の現役研究者を外向により招聘し、コーディネータと連携しながら社会ニーズと技術シーズのマッチングによる共同研究開発や事業化に向けたプロジェクトを推進します。さらに、新設のオープンイノベーション推進チームにより、技術交流プラットフォーム「やまぐちR & Dラボ」等を活用して成長産業全般の取組を支援します。

環境・エネルギー 推進チーム



イノベーションプランナー
三奈木 渉 氏
(株式会社トクヤマから出向)

コーディネータ (元半導体メーカー)

医療・ヘルスケア 推進チーム



イノベーションプランナー
末松 真光 氏
(テルモ株式会社から出向)

コーディネータ (元半導体メーカー)

バイオ推進チーム



イノベーションプランナー
毛利 勇 氏
(セントラル硝子株式会社から出向)

コーディネータ (元医薬品メーカー)

コーディネータ (元バイオメーカー)

オープンイノベーション 推進チーム

コーディネータ (元自動車メーカー)

コーディネータ (元半導体メーカー)

コーディネータ (元半導体メーカー)

技術交流プラットフォーム
(やまぐちR&Dラボ)

コーディネータ (元半導体メーカー)

Step1. 平成26年度から11年間の成果について

- 県では、「活力みなぎる山口県」を実現するため、次世代産業（医療・環境・エネルギー関連分野）の育成・集積に向けた取組を県産業技術センターによるマッチングや県独自の補助金による支援等により積極的に進めてきました。
- 事業実施に伴い、事業化件数は着実に伸びており、中小企業からも高い評価を得ています。

事業化
170件

研究開発 P J

P J 参画企業

	~R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業化 件 数	-	15	14	14	15	18
累 計	94	109	123	137	152	170

中小企業の声

- 市場ニーズを的確に捉えた販売戦略や製品の価値・価格を上げる工夫等を丁寧に教示され、新規分野への参入にあたり非常に参考になった。
- 大企業からの指導・助言により新たに習得した技術をもとに新規分野に参入できた。
- 提供された高度な製品分析データは、今回の共同研究のみならず、今後の自社の研究開発においても有効活用できる。
- 大企業との共同研究を通じて、社内の若手技術者が成長した。

Step2. 今後の方向性について

- 特に多様な波及効果が期待されるヘルスケア・バイオ・水素関連分野を重点的に取り組みます。
- 3分野が連携・融合した推進体制の整備を図り、より高度なイノベーション、事業成果を生み出します。
- 既に事業化された製品や技術を応用可能な分野へ幅広く展開することにより、高付加価値化を進め、新たなイノベーションを創出します。

山口大学
「生命医工学センター」
(YUBEC)
「中高温微生物研究センター」
「再生・細胞治療研究センター」



【バイオ】

- 健康増進や環境負荷低減に資する機能性素材等の製品開発シーズの創出

山口東京理科大学
県内初の薬学部設置



【医療・ヘルスケア】

- 平均寿命から健康寿命延伸へ → ヘルスケアの推進
- 再生医療・細胞療法等の技術革新への対応

山口大学医学部・附属病院
「AIシステム医学・医療研究教育センター」(AISMEC)

相 乗 効 果



【環境・エネルギー】

- 水素等新たなエネルギーの創造によるエネルギー問題への対応
- 環境問題の解決につながる技術革新

事業化件数（累計）

2019年度 94件 → 2024年度 170件